



第 413 号 平成 24 年 12 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥村正治

## 第 43 回全国学校保健・学校医大会

### 「子どもたちの健やかな成長を願って」

会 長 奥 村 正 治

11月10日（土）に熊本県において、第43回全国学校保健・学校医大会が、日本医師会主催、熊本県医師会が担当で、ホテル日航熊本で開かれた。毎年の事であるが、国体の様にどこかの都道府県が当番になり開かれております。ここ何年かは同じプログラムの形式で、午前10時より昼までが、分科会に分かれての協議である。内科系の部が3部門（以前は2部門だったと思います。演題が多くなった為3部門になりました。）耳鼻科、眼科の部がそれぞれ1部門と計5部門の発題・協議です。本年は京都から、当学校医会の林鐘声先生が第1分科会で「京都市小学校大文字駅出場選手の心臓検診」と題して発表していただきました。

正午よりお昼ごはん、午後1時より開会式と表彰式です。これは形どおりの形式で予定時間は延長せず終了。

午後2時よりシンポジウム。メインテーマは『現代の子どもたちの「身体的二極化」について考える』サブテーマは～運動器検診と小児生活習慣病検診への取り組み～というテーマで進められた。基調講演に熊本大学の水田博志教授、シンポジストに梅田修二先生・中村公俊先生・吉野栄浩先生のそれぞれ御立場のちがう話があった。具体的には、他の特別講演も含め、参加いただいた先生方にそれぞれ報告・

感想を書いてもらっているので、御読み下さい。

午後3時40分より、東京大学院教授の姜尚中先生の「悩む力－意味への意志について」の特別講演があった。

特別講演の後、次期開催県の御挨拶があり、来年は京都からは交通の便が十分とは思いたい東北の秋田県で開催されるとのお話であった。開催予定日は、平成25年11月9日（土）です。午前10時に間に合う様な便はなく、遅刻をして参加するか？（飛行機）前日東京泊して秋田に向かうか？スーとは事が運ばない様である。

この大会に先立って文部科学省主催の第62回全国学校保健研究大会が、11月8日（木）と9日（金）に同じ熊本県で開催されました。この会には校医はもちろんの事、学校関係者（養護教諭も含む）や、学校歯科医、学校薬剤師さん達も出席される会である。講演会や、課題別研究協議会（10会場）や、全国学校保健会中央大会も開催される。第1日目に、文部科学大臣表彰も行なわれる。本年は大宅小学校校医の早川道雄先生が学校保健大臣表彰を御受賞されました。まことにおめでとうございます。

こんな日程で、3泊4日の熊本県出張は終わりました。

## 第43回全国学校保健・学校医大会 第1分科会に参加して

今熊野小学校医 長村吉朗

11月10日に熊本県熊本市で開催されました第43回全国学校保健・学校医大会の第1分科会の概要を報告いたします。

1. 熊本県における学校保健の現状 ～県下全学校及び学校医に実施した学校保健アンケート結果よりみた意識の違い～ 熊本県医師会 樽美 光一
2. 東京都多摩市小中学生における頭痛実態調査 東京都医師会 桑原健太郎
3. 学校こころの検診に自我構造分析(エゴグラム)を取り入れた試み 岩手県医師会 齊藤 恵子
4. 学校メンタルヘルスのかさ上げ活動 –全個別児童生徒への内面理解が学校を変える– 三重県医師会 長尾 圭造
5. 不登校の予防 徳島県医師会 二宮 恒夫
6. 発達障害を抱える子どもたちと学校介入 埼玉県医師会 平岩 幹男
7. 秋田県の学校における震災後の子どもの心の状態についてのアンケートについて 秋田県医師会 小泉ひろみ
8. 京都市小学校大文字駅伝出場選手の心臓検診 京都府医師会 林 鐘声

9. タンパク尿を中心とした学校腎臓検診の全県統一フォローシステムの確立

静岡県医師会 和田尚弘

第1題は学校検診に関するもので、熊本県の内科健診において高学年の女子の実に76%が脱衣せずに検診を実施していることにおきまれました。現在全国で脊柱測湾の学校検診における見落とし訴訟が発生している現状に対応していないと思われました。3～7題は心の問題に関する発表で、3のエゴグラムは私に知識が無く全く分かりませんでした。4～6題は心の問題に対応するのにいかに時間を要するのか、しかしその効果が重要であることを述べられました。7題は発表と言うより小講演でした。8題は26回を数え半世紀が過ぎた大文字駅伝の心臓検診の15,430名にも及ぶ検診結果の集計報告ですが、これに関しては又詳細に掲載していただけるものと考えています。9題は血尿+タンパク尿でなく、タンパク尿のみの程度による学校検尿の事後検診の進め方につき報告されました。資料は事務所にございますので必要な方はご連絡下さい。

---

## 第43回全国学校保健・学校医大会 第2分科会：健康教育・生活習慣に参加して

西京高等学校医 杉本英造

演題

1. 大阪市立中学校におけるMRワクチン(3期)集団的個別接種の試み：大阪
2. 愛知県医師会が医学部4年生へ『学校保健』を教授する目的：愛知
3. 「親子で体験 健康教室」その意義と今後の課題
4. 思春期世代の生活リズムと電子メディア接触状況 –中学校での4年間の啓発と変化について– 島根
5. 生活習慣チェックシートを用いた生活習慣病予防に関する取り組み：三重
6. 長野県飯田医師会域内で実施された過去5年間の学童検診から ～BMI標準値との対比による体格変化の検討～：長野

7. 長野県飯田医師会域内で実施された過去5年間の学童検診から ～脂質パラメータに対する採血時刻の影響評価～：長野
8. 熊本県内小中生への喫煙に関するアンケート調査：熊本
9. 佐賀県下小学6年生を対象にした防煙教育の試み –アンケート調査からみえること–：佐賀
10. 学校医による新成人への喫煙防止アプローチとアンケート調査結果の報告：和歌山

(1) MRワクチン接種は、京都では保健衛生行政に学校医が協力し集団接種の形で行われたが、大阪府では医師会が腰の重い行政に働きかけ行われた。3期のワクチン接種対象者約2万人(京都約1万人)に対し、接種率が平成21年度70%と低迷。集団的個

別接種方式で、学校内に巡回診療所を開設し、ワクチンの準備、接種、副反応の対処・責任、接種費用の請求まで行う努力の過程が報告された。アナフィラキシーショックに備え、酸素装置の準備や後方支援病院の確保まで調整され、医師会員への理解も大変だったようである。結果128校中88校で実施し、23年度の接種率は個別接種者と合せ89%となり成果があった（京都：97%）が大都市で行うことの苦労はかなりのものであった。（2）学校医と学校と関係が希薄な面があるため、学校医活動を学生の頃から知ってもらおうとする試み。（3）「こころ」「小児生活習慣病」「感染予防」「栄養」などの教室を親子で巡回し、体験学習してもらう。（4）携帯電話等電子メディア接触時間が長いと睡眠生活リズムに支障をきたし、倦怠感を訴える生徒が増加するため平成20年

からの活動により接触時間が低下した成果。（5）4月に味付けが濃く、炭酸飲料・スナック菓子が好きで、体を動かすことが好きでないと答えた生徒は、翌年1月体重増加傾向にあった。（6）2000年まで学童は肥満傾向を示していたが、最近肥満度の増加は止まっている。（7）総コレステロール・LDL・HDL・中性脂肪測定において、採血時間が午前10時前（食後2～4時間）・後を比較すると、10時前は中性脂肪のみ有意に高値を示した。ただし食事内容には制限を設けていない。

（8）～（10）児童・生徒の喫煙に影響を与えるのは家庭で喫煙している因子が強いことから、家族への啓蒙が重要。保育園からの喫煙経験もあり驚かされたが、いずれの発表もアンケート調査までで禁煙治療・指導にまでは至っていなかった。

---

---

## "第3分科会「からだ・こころ（3）」 運動器検診・スポーツ障害"に参加して

福西小学校医 奥村正治

5分科会の3/5が内科系の分科会である。その分科会の1つが運動器検診・スポーツ障害である。

第3分科会は8題の演題であった。表題のみ挙げておきます。（1）熊本市における子どもたちの脊柱側弯症検診、（2）精神発達遅滞児に対する整形外科医の関わり、（3）宮崎で実施している学校における運動器検診について、（4）中学校武道と運動器検診、（5）豊島区内中学校における骨密度測定事業について—第1報—、（6）小・中・高校生のRICE処置の認知度の現状、（7）前腸骨棘裂離骨折の経験、（8）柔道における重傷頭部外傷—中学校の武道必修化をうけて—である。

全国の学校で整形外科の標榜先生が校医をなさっているケースは少ないだろうと思いますが、8題中6題が整形外科の先生の御発表です。本年より中学校で武道の必修化が行われたのも要因になるでしょう。又、運動器の10年という事で始まった学校検診の中に運動器検診が取り組まれ、全国的にかなり広がって来たのでしょうか？ 学校検診でどの学校でも行なわれるようになった側弯症検診等々内科系の医師が、その一部を行なう事により進められている現状は京都も他府県ともさほど開きはない様だ。見落し例が発生しない様に心して検診を行なう事が大切であるという思いで聞いて来ました。

---

---

## 平成24年度 第43回全国学校保健・学校医大会に参加して

耳鼻咽喉科 鈴木由一

私は第4分科会 [耳鼻咽喉科] に参加してまいりました。下段のプログラムにあるように9題の演題が発表されました。

1～5は具体的な個々の症例について、6～9は就学時検診や学校検診に関する演題でした。特に後

半の検診に関する演題では耳鼻科学校医の活動意義・耳鼻科医と学校および養護教員との関係・診断名を含めたプライバシーの問題・検診の時期によってアレルギー性鼻炎の診断にバラつきがある・診断基準・事後措置等々多くの内容を含んだ演題でありました。

なお当日の資料をご覧になりたい方は京都市学校  
医会事務局までご連絡ください。

#### 第4分科会 [耳鼻咽喉科]

座長 日本耳鼻咽喉科学会熊本県地方部会理事

春野 博一

熊本県耳鼻咽喉科医会理事 定永 恭明

- 1 新生児聴覚スクリーニングを受け学童期に達した  
児童の現況 大阪府医師会 佐野 光仁
- 2 「言語聴覚士と関わった耳鼻咽喉科症例」につ  
いて 神奈川県医師会 寺崎 雅子
- 3 教員の発話環境と音声障害についての検討  
徳島県医師会 宇高 二良

#### 4 ことばの異常と難聴

東京都医師会 大島 清史

- 5 学童におけるアレルギー性鼻炎発症に関連する  
因子の検討 滋賀県医師会 楠 隆
- 6 静岡県における就学時検診の実態調査と今後の  
課題 静岡県医師会 鳥居 智子
- 7 新潟市の学校検診に関するアンケート調査の結果  
新潟県医師会 大滝 一
- 8 熊本県内における耳鼻咽喉科学校検診の地域別  
現状比較 熊本県医師会 定永 恭明
- 9 耳鼻咽喉科学校健康診断における事後措置の現  
状と問題点 熊本県医師会 宇野 正志

## 第6回 常任理事会

平成24年12月1日

於 事務局

出席者 奥村会長, 林・竹内副会長, 井本専務理事,  
杉本常任理事, 佐野眼科学校医会副会長,  
鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事, 長村監事

#### ・会長挨拶

#### <報告事項>

1. 平成24年度 社団法人京都府歯科医師会会員大会  
11/3 奥村出席 於：京都ブライトンホテル
2. 腎臓相談 11/6 2名
3. 精神衛生研究会 11/8
4. 第62回全国学校保健研究大会 11/8~11/9  
熊本市
5. 第43回全国学校保健・学校医大会 11/10  
熊本市 林先生発表
6. 色覚相談 11/20 2名, 11/27 1名
7. 平成24年度 京都市学校保健会 研究発表会・  
表彰式 11/24 於：京都市総合教育センター
8. 平成24年度 京都市学校保健会 表彰祝賀会・  
懇親会 11/24 於：京都市総合教育センター
9. 第61回 近畿医師会連合学校医研究協議会総会  
11/24 樫原市 奥村出席
10. 「大文字駅伝」実行委員会 11/26
11. その他

#### <協議事項>

1. 学校検診後の診療情報提供について  
書式, システムなどについて協議
2. 新年会について H25 1/12  
18:00~ 理事会 19:00~ 新年会  
(前号記載より時間変更)
3. 第27回 京都市小学校「大文字駅伝」大会出務  
医について H25 2/10 出務医調整中
4. 「大文字駅伝」事前健康検診について 12/22,  
H25 1/12
5. 新任校医研修会について H25 3/28 14:00~
6. 校医・小児科医感染症講演会 講師について  
H25 3/2 於：全日空ホテル 菅谷憲夫先生に決定
7. 平成25年度 京都市学校医会総会 講師について  
H25 4/20
8. 仮決算について
9. その他

#### <関連学会・各種協議>

1. 京都市小学生駅伝競走記録会 12/2
2. 精神衛生研究会 12/6, H25 1/10
3. 腎臓相談 12/11
4. 色覚相談 12/4, 12/18, H25 1/8
5. 第27回 京都市小学校「大文字駅伝」大会事前  
健康診断 12/22, H25 1/12
6. 京都府歯科医師会 平成25年新年互礼会 H25 1/9
7. 第8回 常任理事会兼新年会 H25 1/12  
於：「草喰 なかひがし」  
18:00~ 理事会 19:00~ 新年会
8. その他